

今週の
みことば

「わたしはエジプトから、わたしの子を呼び出した」
(エレミヤ書 31 章 15 節～17 節)
「主はこう言われる。『あなたの泣く声、あなたの目の涙を止めよ。あなたの労苦には報いがあるからだ。—主のことは—彼らは敵の地から帰って来る。あなたの将来には望みがある。—主のことは—あなたの子らは自分の土地に帰って来る。』」(31:16,17)。
(マタイの福音書 2 章 13 節～23 節) 「ヘロデが死ぬと、見よ、主の使いが夢で、エジプトにいるヨセフに現れて言った。『立って幼子とその母を連れてイスラエルの地に行きなさい。幼子のいのちを狙っていた者たちは死にました。』」(2:19,20)

今日のメッセージ要旨

◎主イエス様は誕生の前後から旅を強いられた歩みでられました。そのためのヨセフやマリヤのご苦労はどんなに大きかったかを察せられます。何故か？。

◎エレミヤ書31章の主題は「全イスラエルの回復」です。神様と民の関係を明白にして後、神様の恵みは困難の中に注がれ(2、出エジプト33:12-16)、また神様の存在が遠く感じられる場合にも、私たちに「永遠の愛をもって愛している。わたしは誠実を尽くし続けた」(3)と語られ、再建の約束が与えられるのです。更に神を求めて帰ることの約束です。神様は「悲しみを喜びに変え、憂いを慰め、楽しませ、恵みに満ちたらせ」て下さるのです。神様は北及び南について語られた後、南北の回復を預言され、人や家畜を増やし(27)、国を再建して下さり(28)、人は他人の罪によって裁かれることはなく(29～30)、「新しい契約」(旧約聖書ではこの箇所のみ)を約束されたのです。この「新しい契約」は「古い契約」(Ⅱコリント3:14)、即ち、神様が「彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約」(モーセを通しての律法)とは違うのです(32)。シナイ山でイスラエルの民と結ばれた「律法を守る者は祝福され」「守らない者は呪われる」との契約に民は「アーメン」と応えたのです(申命記27:15-26)。古い契約である律法は「2枚の石」(出31:18, 34:28, 29)、或いは「書物」(出24:7)に記されたのです。しかし新しい契約は「心に記される」契約です(33)。それまでは人々は「父が酸いぶどうを食べたので、子どもの歯が浮く」とは言って責任逃れをしていたが、神様は「人はそれぞれ自分の咎のために死ぬ」(申命記24:16)、「だれでも、酸いぶどうを食べる者は歯が浮くのだ」と宣言されたのです(30、エレキエル18:2-4)。しかし神様はその罪の問題を解決するため「罪の赦し」の約束をされたのです。「一主の御告げ—わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ」(34)。神様の赦しは徹底的です。「ぬぐい去ってくださる」のです(イザヤ43:25)。その上で神様は今まで言い逃れてきた民に対し、新しい契約を「心に律法を記す」と約束され、更に神様を直接「知る」ことの出来る親しい関係に入れて下さるのです。

◎マタイの福音書2章後半の主題は「エジプトへの避難」です。ヨセフが神様から受けた2番目の夢であった(13)。最初の夢は、マリヤの子どもはメシアであることを明らかにし(1:20, 21)、2番目の夢はイエス様の命を守る方法を知らせた。

幾つかのエジプトの町にはユダヤ人の居留地があり、これらの居留地は、バビロン捕囚の時期に発展していた(エズラ43, 44章)。イエス様とイスラエルの歴史の類似点。①ヨセフはイエスを連れてエジプトに避難し(2:14, 15)、ヘブル人たちは飢饉を避けてエジプトへ行った(創世記46:1-7)。②ヘロデはベツレヘムの赤子を殺し(2:16-17)、パロはヘブル人の男の子を殺した(出エジプト1:15-22)。③イエスはヨルダン川でバプテスマを受け(3:13-17)、ヘブル人は葦の海を通してエジプト人から救われた(出エジプト14:15-31)。④イエスは荒野で断食して過ごし(4:1-11)、イスラエル人は40年間荒野を放浪した(民数記14:26-35)。これらの出来事はすべて、ご自分の民を救う神様の働きを示している。ヘロデは人間の任命による王で、イエス様は神様の任命による王で、人に仕え、人に仕える道を示したのです。